

「塩尻商工会議所が進める実践型インターンシップ事業とは」

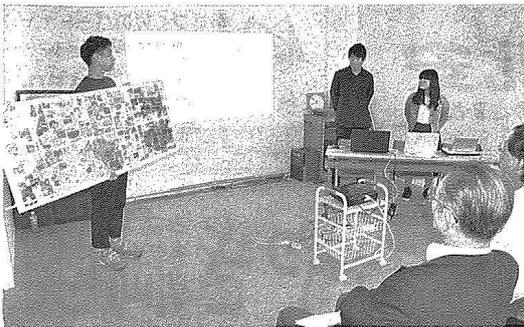
企業の経営革新や将来ビジョン実現のため、緊急性は低いが重要性は高い課題の解決プロセスの一部を、1ヶ月のプロジェクトとして設計し、意欲の高い若手人材が取り組むことで、地域企業の課題解決の手助けをする。

緊急性が高ければすでに企業が取り組んでおり、重要性が低ければそもそもやる必要がない、重要性が高いのに緊急性が低いから後回しにしてしまう、手を付けなければ経営革新や将来ビジョンの実現は難しい、そこに、外部からの人材を投入することで課題解決の手助けをする、そんなプロジェクトを受入企業と協力し設計しております。

2017年夏の募集企業一覧（募集は終了しております）

https://www.project-index.jp/coordinators/list?cd_id=33

夏のインターンシップでは、5人の県外大学生が市内3社の課題解決に取り組み、1ヶ月の成果を塩尻市長にプレゼンしました。



企画を提案する学生たち

塩尻地区労務対策協議会が、8月から約1カ月間にわたって行った実践型インターンシップ（就業体験）の成果発表会が30日、塩尻市の市民交流センター・えんぼ1く内の塩尻商工会議所大会議室で開かれた。3社で経営革新の課題に取り組み、開発した商品や企業が、開発した商品や企

経営革新案 学生が発表 就業体験の成果 市長らに

観光客を塩尻まで呼び込む「木曾電車の旅」というモデルコースも考案した。小口市長は内容を高く評価し、シティブロモーション事業に取り入れるとした。

中信紙工の湯山聖人

（柳 純一）

保育園へ出張販売



園児と一緒にダンボール神輿完成



塩尻市では2014年から始まった実践型インターンシップ事業ですが、2017年夏のインターンシップを終了した段階で参加人数延べ40人、受入企業延べ12社と多くの人と企業にご協力していただきました。

2016年春の実践型インターンシップの全てがここに（NPO 法人ハナラボ）

<http://hanajob.jp/shiojiri-1/>（前編）

<http://hanajob.jp/shiojiri/>（後編）

今後も地域の基盤産業の活性化による「しごと」の創出を図り、大都市圏から「ひと」のUIJターンを促進していけるよう、事業を継続してまいります。

